



満開の桜の下で 日立さくらまつりを開催

4月4日から5日にかけて、「第61回日立さくらまつり」のメインイベントが開催されました。5日には「第26回日立さくらロードレース」も同時開催。会場はたくさんの人でにぎわいました。



迅速な処置で命を救う 消防協力者への感謝状贈呈



3月12日、消防協力者への感謝状贈呈式が行われました。今回表彰されたのは、折笠スポーツ広場施設長の飯塚優さんと職員の豊田文正さん。同施設でテニスをしていた男性が心肺停止となった際に、迅速なAEDの使用と適切な心肺蘇生法を実施したことにより男性は救急隊到着前に心拍と呼吸が再開。約1か月後には後遺症もなく退院し社会復帰を果たしました。飯塚さんは「処置をするのは緊張したが、回復されたそうで安心しました」と話しました。

スイムクラブフィットネス所属選手 全国大会に出場



3月23日、大沼町のスイムクラブフィットネス所属の3選手が、全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会出場報告のため市役所を訪れ、意気込みを語りました。大会は3月27日から30日まで東京アクアティクスセンターで開催。出野有紗選手はバタフライ200m、佐藤奏輔選手と坪井源選手はバタフライ100m、200mに出場し、佐藤選手が200mで7位入賞を果たしました。選手たちの今後のさらなる活躍が大いに期待されます。

日立風流物 収蔵施設完成記念式典を開催



3月25日、ユネスコの無形文化遺産に登録されている伝統芸能「日立風流物」の山車を収蔵する新たな施設が完成し、記念式典が開かれました。新収蔵庫は空調設備や高床式の導入により保管環境が向上。建物外にはトラックが出入りできるスペースが確保され、旧収蔵庫の課題であった搬入出の作業環境も改善されました。4台の山車は、5月に同時公開を行った後、新収蔵庫に保管されます。今後は保存・継承の拠点として、次世代へ伝統を伝えていきます。

地域防災の拠点 北部消防署新庁舎が完成



3月28日、北部消防署の新庁舎竣工式が開催されました。日高町2丁目のゆりの木通り沿いに移転新築された北部消防署。新庁舎は訓練塔や非常用発電設備、耐震性防火水槽を備え災害時の拠点機能が強化されたほか、太陽光発電設備を導入し、年間エネルギー消費量を75%以上削減する Nearly ZEB 認証を県内の消防庁舎で初めて取得しました。式典で小川市長は「本市の消防力の充実と強化につながることを期待している」と話しました。

地域交通の安全性向上へ 中所沢川尻線が開通



3月30日、小木津町から折笠町をつなぐ中所沢川尻線(市道640号線)の全線開通を記念して、式典が行われました。市北部の国道6号や県道日立いわき線を補完する幹線道路である同路線。新設区間の整備に加え、現道の拡幅工事が行われ、今回の整備により歩道が新設されました。通学者や近隣施設の利用者の安全に寄与するだけでなく、主要道路の交通を分散させて渋滞の解消を図ることで、地域交通の安全性と利便性の向上が期待されます。

新たな学校生活のスタート 十王小学校が開校



4月6日、山部小と櫛形小の統合校である十王小学校の開校式が行われました。式では折笠教育長が萩原校長に新しい校旗を授与。校歌の作詞を担当した高原地区出身の児童文学作家、佐々木ひとみさんからは著書が寄贈されました。児童代表の横山宇汰さんは、「伝統を大切に、地域に貢献できる十王っ子になりたい」と抱負を語りました。同校は7日の入学式で80人の新入生を迎え、旧櫛形小学校の校舎で596人の児童が新たな学校生活を送ります。